

平成21年5月22日

平成21年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第2回 5月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より増加し、平均値(31.4個/曳網)および前年値と比べて非常に多かった。

前年	平成20年5月1日	(6点の平均)	11.0 個
前回	平成21年4月17日	(17点の平均)	0.4 個
今回	平成21年5月7日	(6点の平均)	148.3 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

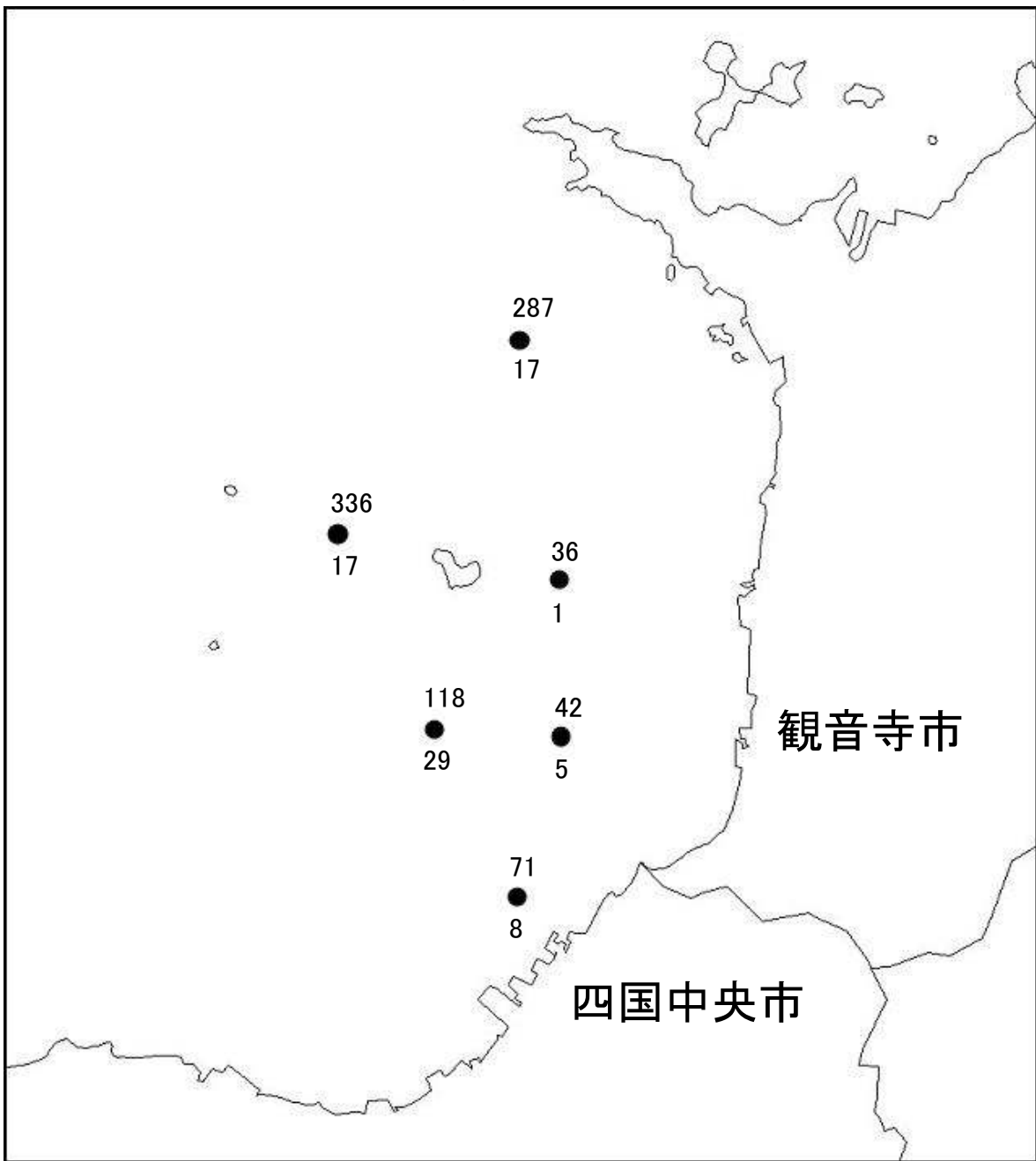
仔魚が出現し、平均値(4.8尾/曳網)および前年値と比べて非常に多かった。

前年	平成20年5月1日	(6点の平均)	0.0 尾
前回	平成21年4月17日	(17点の平均)	0.0 尾
今回	平成21年5月7日	(6点の平均)	12.8 尾

○プランクトン調査

全体的にプランクトン量が少なかったが、優占種はカイアシ類であった。

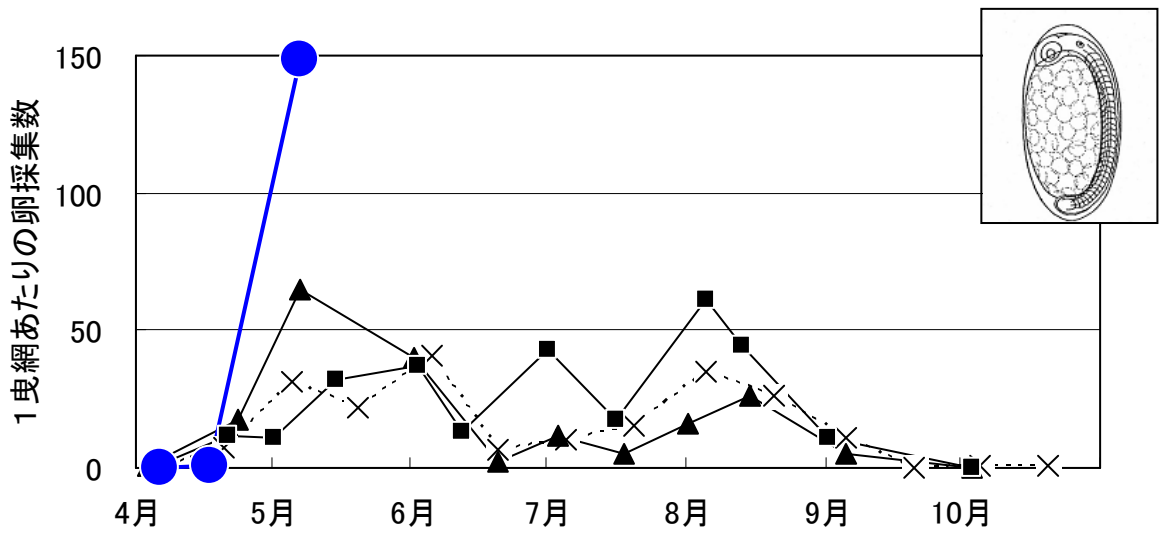
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(5.7)



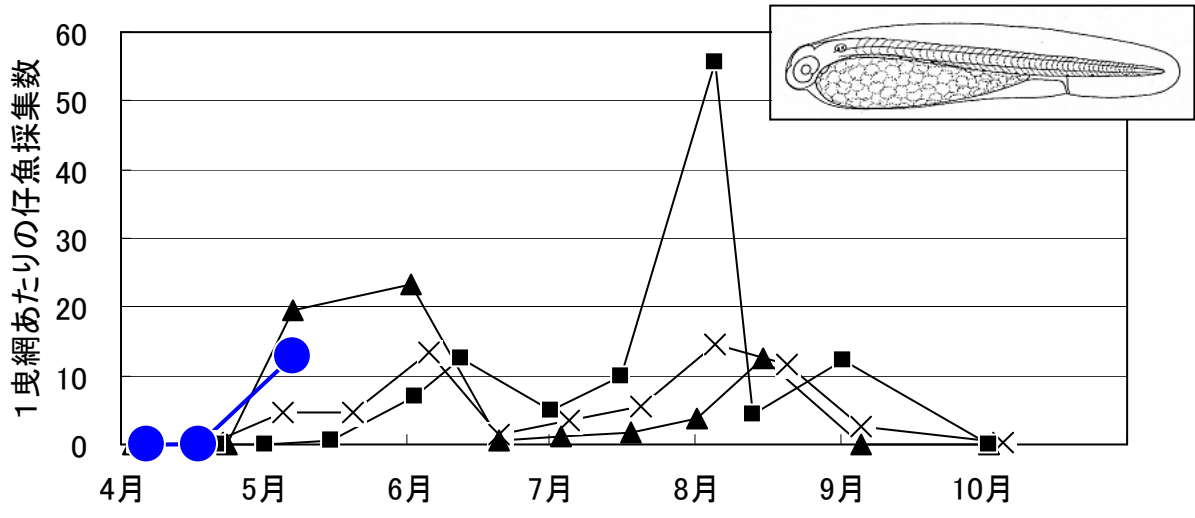
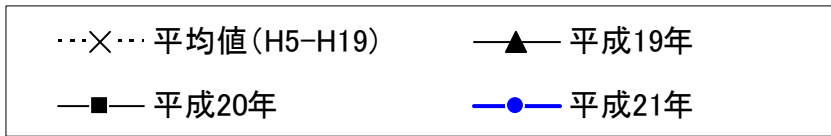
凡例

●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

